



東武トップツアーズ株式会社
TOBU TOP TOURS CO.,LTD
Communication on Progress
対象期間：2018年1月～2018年12月

国連の提唱する人権、労働、環境、及び腐敗防止に関する普遍的原則を進める『国連グローバル・コンパクト』に当社は2012年5月から参加しています。社内・外における積極的なCSR活動の取組みを通じて、グローバル企業として責任ある経営を推進し、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

2019年1月25日

代表取締役社長

坂巻 伸昭

人権分野に関する活動報告

| 本年度の活動目標・内容 | 結果・評価 | 来年度の活動目標 |
|---|---|--|
| 2005年3月より、コードプロジェクトユニセフ・UNWTOなどが進める「子ども買春防止のための旅行・観光業界行動倫理規程(Code of Conduct)」に参加を継続している。 | 従来より当社ホームページで、プロジェクト参加表明とプロジェクトの目的を説明している。 | 引続き活動を継続し、より充実をはかる。 |
| 2010年からJCV(世界の子どもにワクチンを日本委員会)の活動を支援し、本年はシルバーパートナーとして活動を継続している。 | 途上国の子どもたちへワクチンを贈る活動に、シルバーパートナーとして支援・参画した。HPでも活動を紹介。 | JCVを通じた途上国への訪問と活動支援を検討。支援ツアーの企画や手配を実施。 |
| 社内ホットラインの更なる利用促進のため、コンプライアンスハンドブックの改訂と、同ラインの周知を図った。 | 社員がいつでもセクハラやパワハラに対し、周囲を気にせず相談できる環境の充実がはかれた。 | 引続き活動を継続するとともに、相談者の秘密厳守を徹底する。 |

労働に関する活動報告

| 本年度の活動目標・内容 | 結果・評価 | 来年度の活動目標 |
|---|--|---|
| 全従業員の定期的な健康診断の実施(年1回全従業員の定期健康診断を実施) | 予定どおり全従業員を対象に健康診断を実施した。 (受診率：100%) | 引続き実施するとともに、未受診者ゼロを目指す。 |
| 全従業員への有休休暇取得奨励で利用率の向上を図り、「ノー残業デー」を設置するとともに、「働き方改革推進委員会」にて新たな取り組みを進める。 | 有休取得促進告知の社内ポータル掲載と、毎週水曜日の「ノー残業デー」設定を実施したほか、勤務時間のフレキシビリティをはかるため「時差出勤」のトライアルを実施。 | 有休取得ならびにノー残業デーの浸透をさらに図るとともに、取得率向上の取り組みを行なう。また、個人のライフスタイルを活かせる、柔軟な勤務制度を検討する。 |
| 障がい者の新法定雇用率2.2%までの引上げを目指す。 | 全従業員の2.07%を雇用した。 | 引続き、法定雇用率クリアを図る。 |
| オフィス環境や耐震性を考慮した、事業所移転計画を策定・実施。 | 左記を踏まえた本社ならびに一部支店の移転を実施。 | 引続き実施する。 |

環境に関する活動報告

| 本年度の活動目標・内容 | 結果・評価 | 来年度の活動目標 |
|-----------------------------------|---|-----------------------------|
| エコツアーの実施。 | 植林活動をコースに入れた旅行商品の募集や、SDGS活動をテーマとした視察ツアーの実施等を行なった。 | 通年で同様の活動を実施。 |
| スポーツ大会等多くの人が集まる場所で、ゴミの収集と分別活動を実施。 | 湘南国際マラソン大会で、ゴミの資源分別ステーションをボランティアとして運営。 | 同大会への参加を継続するとともに、活動の拡がりを図る。 |

腐敗防止に関する活動報告

| 本年度の活動目標・内容 | 結果・評価 | 来年度の活動目標 |
|--|---|--|
| 反社会的勢力との取引を一切禁止する社内規定を策定。取引業者、顧客に対して事実関係の有無調査と覚書の交換。 | 業務上の取引先に対し先のとおり取り組みを実施するとともに、社内監査等での浸透を図った。 | 引続き実施するとともに、社内監査等での徹底を継続する。関連するeラーニング等も検討。 |